



中田青指のマーク

児童憲章

児童は、人として尊ばれる。
児童は、社会の一員として重んぜられる。
児童は、よい環境の中で育てられる。

青空

第43号

発行責任者 泉区中田地区
青少年指導員協議会
会長 國分満義

発行日 令和4年3月



中田地区
青少年指導員協議会
会長 國分満義

成人年齢18歳に引き下げについて

中田地区の皆さん、こんにちは。第27期もこの3月31日をもって終わりです。27期はコロナに振り回された2年間で決して良い年であったとは言えませんが、開催したイベントは少なくとも新たな取り組みにも挑戦できたことは良かったと思います。物事はとらえ方次第ですから前向きに行きたいと考えます。

さて、成人といえ、今年4月から成人年齢が20歳から18歳に引き下げられますね。長く続いたものが変わるというのは感慨深いものがあります。放送大学・千葉大学名誉教授の宮本みち子先生から「成人年齢の引き下げに関する課題」といテーマの講演を聴く機会がありました。その課題は若者が自立した大人になる過程を保障する社会的環境をたくさん整備することが必要で、その例は以下のようなものになるとのことです。

- ・社会への参加、意思決定への参画
- ・教育と職業訓練
- ・情報提供と相談
- ・社会関係のネットワーク
- ・働く場

- ・経済的安定
- ・人生前半期の社会保障の強化

上記が、移行政策に期待されることであるとのこと。他国での成人年齢は18歳が多く占めており、1970年代の頃、社会的運動が多く行われたことから、早い時期からの社会への参画政策の一貫として、1990年頃に18歳に引き下げられたようです。一方、日本の18歳引き下げには、民法を含めると、500くらいの法改定を要することから遅れたが、やっと整備が終わり、この4月から実施されることになったとのことでした。ある若者によると、「人や自然との関わりにより知識や経験でキャパシティが広くなり、メンタルにおいても鍛えられ、誰かに頼ったりするのではなく、どう行動すればうまくいくのかを考えるようになり、それが自分の進路の決め手になった。」という事例報告もありました。

私たち青少年指導員も、若者が自立した大人になるための人や自然との関わり場の構築と整備等に多少なりとも参画していけたらと思います。任期2年間ありがとうございました。



東中田小学校
校長 天野直美

「まちで生きる子ども」を育てる

5年前私が校長として着任した時、一番に感じたことは、東中田小学校は地域とのつながりが深い学校だということでした。初めて中田地域を訪れた日が中田小学校のさくらまつりでした。あいにくの荒天でさくらまつりは中止となり、前任の校長先生に案内されながら、これからお世話になる地域の方々へのご挨拶まわりをしました。あれから何度も青少年指導員の皆様には支えていただきました。伝統ある夏のキャンプや中田連合サマーフェスティバル、PTA行事「ふれあいDoing」での体力づくりコーナー、他にも1年生に昔遊びを教えていただいたり、地域授業参観で学校運営についての貴重なご意見をいただいたりしました。現在、新型コロナ感染症拡大防止策により

これらの取り組みが出来ない状況の中で改めて子どもの成長には人のかかわりがとても大事であることを深く感じております。東中田小学校では「自分づくりに関する力」の育成に重点を置き、主体的に目標を設定して行動する児童の育成に微力ながら取り組んでまいりました。この取り組みにより自ら地域や学校をより良くするために出来る事を考えて行動しようとする姿がたくさん見られるようになりました。今は皆さんに学校でその姿を見ていただくことはできませんが、いつか中田のまちで生きる子どもたちから成長を感じ取っていただけるよう、引き続き教育を地道に実践してまいりたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

【各自治会・町内会の青少年指導員★第27期】



横浜市青少年指導員シンボルマーク

29	28	27	26	24	23	22	20	18	17	16	14	13	12	11	10	9	8	7	5	3	2	1				
若山	山	山	向	南	南	南	富	富	広	東	ひ	根	夏	中	中	中	戸	高	下	下	葛	中	池	朝		
	百	神	根	よ	親	親	士	士			が		刈				塚				田		日			
草	合	前	下	葉	会	会	丘	丘	町	原	丘	下	場	村	村	村	西	下	苑	砂	村	村	野	場	谷	台
田	大	佐	小	井	会	会	平	岡	高	櫻	荒	坂	島	高	香	奥	小	佐	北	三	藤	村	野	的	谷	台
口	木	藤	山	上	代	木	野	本	橋	井		本	村	橋	月	津	林	藤	谷	島	原	深	國	的	谷	台
長	次	正	孝	昭	一	敬	智	正	邦	功	和	康	久	村	喜	榮	孝	法	辰	法	辰	村	野	的	谷	台
内	郎	志	夫	男	人	生	宏	美	宣	夫	一	弥	彦	雄	紀	久	光	勉	遵	遵	辰	好	満	俊	俊	和

令和3年度顕彰

《横浜市永年勤続10年表彰》

高橋正宣



多くの諸先輩や仲間、地域の関係各位に支えられ、子ども達を笑顔にできた活動の思い出は、自分にとって大きな財産となりました。

《神奈川県青少年育成活動推進者表彰》

井上昭男



コロナ禍の為イベントが中止になり子どもたちと会う機会が少なくなり残念です。これからも地域の子どものために出来ることを頑張ってやっていこうと思います。

中田地区青少年指導員活動記録

クラフトフェスティバル

令和3年10月10日

例年実施しているサマーフェスティバルに代わり、今年度は、クラフトフェスティバルを開催しました。当日は、午前の部、午後の部合わせて、52名の参加がありました。

ゴム動力飛行機、万華鏡、スノードーム、ジャイロ飛行機、ペン立ての5種類を工作し、飛行機は作った後に実際に飛ばして遊びました。コロナ禍でイベントが少ない中、子ども達のたくさんの笑顔に開催側も多くの元気をもらうことができました。今後も工夫をしながらイベントを開催していきたいと思っておりますので、多くの方のご参加をお待ちしています。



万華鏡 何色にしようかな!



スノードームうまく作れたよ!



みんな笑顔で「にー」

なかだっ子ハイキング

令和3年10月31日

ハイキングを10月31日に行いました。例年夏休み直後に行われるキャンプ教室に代わってのイベントです。当日は曇り空で午後から雨が降るとの予報でしたが決行。中田中央公園をスタートし、旭区のこども自然公園までのハイキングです。到着後はポイントラリーを男女のグループに分かれて行い、ポイント地点で問題を解きながら時間内にゴールを目指すものです。予定していた時間より皆早く終了するなど、元気な姿が見られました。終了後は持参したお弁当を楽しく食べて、その後は青指で準備した遊具や公園内のアスレチック施設で遊ぶ予定でしたが、雨が降り始め、次第に強くなったため中田に帰る事にしました。緑園都市駅から弥生台駅までは電車で移動。ゴールの中央公園までハイキングし終了。天候に恵まれず途中終了でしたが、思い出に残ればと思います。次回はキャンプで会いましょう。



わくわく スタートです



みんなでモリモリ弁当タイム



雨が降っても、もっと遊びたいな!



これから電車に乗って帰ります

みんなの遊び場／地域の子ども交流支援事業

4/17, 6/19, 11/20

子どもと地域の大人との顔の見える関係作りを目指した取組の一つとして、和泉中央青指ほかの方々と共同で、立場地区センターにてみんなの遊び場を開催しています。

新型コロナの関係で計画通りの開催ができませんでしたが、それでも割ばし鉄砲やバードコールなどの新たな工作やラジオ作りに多くの子どもたちが集まりました。

今年度も新型コロナ感染防止で「3密」を避けるため体育室で、スポーツ推進委員との共催で行いましたが、工作の後に卓球やペタンクなどの運動ができ、子どもたちも保護者の皆さんも大喜びでした。



的にうまく当てることができたよ!



鳥の鳴き声が出たよ



うまく音が聴こえたよ



お母さんとペタンク楽しかった

2年間を振り返って

私は、2020年から青少年指導員に委嘱されました。コロナ禍では集まって皆で活動することも制限があり、子どもたちとの関わりが少なかったことが残念でした。そんな中、地区センターでのイベントでは子どもたちの笑顔やいきいきとした姿を見ることができました。青少年指導員の活動の場の必要性や人とのつながりを持つことで共に成長できて、やりがいを感じる瞬間でした。以前のような活動ができるようになるにはまだ時間がかかると思います。今できることを通して、これからも微力ではありますが地域の子どものために立つことができれば幸いです。

(岡本 智美)

編集後記

青少年指導員協議会の一年間の活動を「青空」で報告します。今年度もコロナウィルス感染拡大防止で、多くのイベントが中止となりましたが、初めての取り組みでクラフトフェスティバル、ハイキングを開催して子ども達を笑顔にできました。これからも地域の皆様の行事へのご参加・ご協力をお願いいたします。(広報委員)